

# 砥部町バランスシート探検隊



8月18日から20日まで、バランスシート探検隊事業を実施しました。この事業は、わかりにくい自治体の会計の話を、高校生や大学生の視点で分かりやすく読み解いていこうと言うものです。学生たちは、バランスシートを見ながら公共施設を巡ることで、まちの財政や今後の公共施設のあり方などについて考えました。

●この事業は、千葉県の習志野市と千葉大学が協働で実施した事業ですが、砥部町はJAGA（公会計の実践的な研究・普及活動を行っている会）との連携事業となりました。JAGAからは、習志野市で実施した時に中心的な役割をしたJAGA理事大塚成男氏（千葉大学大学院教授）、同じく宮澤正泰氏（習志野市会計管理者）のご協力をいただきました。また、習志野市の後援もいただきました。

※写真は、佐川町長とJAGA会長柴健次氏（関西大学大学院教授）との調印式の様子です。



●松山大学経営学部溝上ゼミと松山商業高等学校にご協力いただきました。写真は、松山大学溝上ゼミの学生との事前勉強会の様子です。



●18日は、探検隊事業に先立ち、大塚氏と宮澤氏に公会計に関する講演をしていただきました。県内外から多くの人が参加しました。（顔写真右大塚氏・左宮澤氏）



●19日は、オープニングセミナーを行ったあと、まちの財政など基礎的な知識について勉強しました。その後それらの知識を踏まえて、砥部中学校、ごみ処理施設、公共下水道処理施設、橋梁の施設見学を行いました。





●20日の午前中は、広田地区、インフラ、教育、文化、観光、福祉の6つのグループに分かれて、それぞれ施設見学を行いました。



午後からは、見学で気づいたことなどをレポートにまとめ、発表しました。



●参加者コメント

「所属するゼミでよくバランスシートを目にしているが、実際に建物などの資産を見ると、より実感できた。」

「橋梁は、多くの住民が利用するものであるため、簡単にはなくすことができず、長期的な計画を立て、点検管理を行う必要がある。」

「自分も通った幼稚園の修繕に、思ったよりお金が掛かっていて驚いた。」



習志野市 宮本市長からのメッセージ



このたび「砥部町バランスシート探検隊」事業が実施されますことを、心よりお喜

び申し上げます。習志野市におけるバランスシート探検隊事業は、専門用語が多く、わかりにくいバランスシートを「高校生にもわかる」という視点で読み解き、多くの市民に市の財務状況をわかりやすく伝えることを目的として実施したものです。

千葉大学との協働により本市が全国で初めて取り組んだこの事業は、地元テレビ広報番組において放送するとともに、事業内容を報告書にするなど、広く市民への周知に努めているところです。

習志野市で誕生したバランスシート探検隊事業が、砥部町の皆さんの手によって新しい発見を重ね、自分たちの町について関心を深めていただくことで、住民自治の意識が更に醸成されることを願っております。

平成26年8月19日  
千葉県習志野市長 宮本 泰介

砥部町の財政情報の開示が表彰されました

8月27日、早稲田大学で、公会計改革推進シンポジウム2014が開催され、その中でパブリックディスクロージャー表彰2013



の表彰式が行われました。

本町は、財務情報の開示などについてグッドエフォート賞（努力賞のようなもの）を受賞しました。また、シンポジウムでは、パネリストとしても参加しました。

